

2013-B					
拠出金・基金の名称		大西洋まぐろ類保存国際委員会拠出金			
種別		イヤーマーク ノン・イヤーマーク			
【拠出先の国際機関名】 大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT)					
【所管官庁担当局課・室名】 農林水産省大臣官房国際部国際協力課					
【当該任意拠出金の目的・用途等】					
<p>大西洋まぐろ類保存国際委員会 (ICCAT) により、マグロ類の資源管理措置の強化や科学的調査の高度化が年々実施されている。しかし、マグロ類の漁場を有し、漁獲を行っている沿岸途上国の漁業管理体制や調査技術は十分ではなく、資源管理などの能力向上のための支援が必要となっていることから、ICCAT事務局を通じ、沿岸途上国の漁業管理及び調査能力の向上を目的とする協力を行うことにより、ICCATが決定する資源保存措置の有効性を一層確保し、将来にわたりマグロ類の安定的な供給の確保を図る必要がある。</p>					
【最近3年間の我が国支払額及びODA率】					
単位	邦貨 (千円)	外貨1 (千ユーロ)	外貨2 (千)	レート	ODA率 (%)
平成25年度	29,587	277	-	1ユーロ = 107円	100%
平成24年度	35,021	313	-	1ユーロ = 112円	100%
平成23年度	40,089	334	-	1ユーロ = 120円	100%
【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】					
<p>当該機関は大西洋のマグロ類の保存管理を目的として設置された地域漁業管理機関であり、大西洋では我が国の漁船が操業しており、また、外国からの輸入を含め、当該海域で漁獲された多くのマグロが日本に供給されていることから、我が国にとって非常に重要な海域となっている。</p> <p>近年、沿岸途上国において、複雑化、高度化する保存管理措置への対応が困難になっている。それらの沿岸途上国による効果的な保存管理措置の導入を支援することが急務となっていることから、ICCATの果たす役割は重要と評価。</p> <p>我が国を含む加盟国からの拠出金等により、沿岸途上国の管理能力強化を図ることにより、資源の持続的利用に寄与することとなり、我が国へのマグロ類資源の安定的な供給にも資することとなる。また、このことは、我が国が推進する科学的根拠に基づく水産資源の持続的利用と一致することとなる。</p>					